

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公開番号】特開2017-29303(P2017-29303A)

【公開日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2015-150991(P2015-150991)

【国際特許分類】

A 6 1 G 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 13/00 Q

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月10日(2018.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

腰ボトム及び背ボトムを支持するベッドフレームと、
足ボトムを支持し、前記ベッドフレームの下方をベッド長手方向に沿って移動可能な足部フレームと、
前記足部フレームに対して上下動可能に取り付けられたレバーと、
前記ベッド長手方向に延び、前記レバーの上下動に連動して前記ベッド長手方向に運動する連動杆と、
前記連動杆に対して回動可能に連結され、前記連動杆の前記ベッド長手方向の運動に連動して第 1 位置と第 2 位置との間で上下動する係止部を有した連結片と、
前記ベッドフレームのベッド足部側に固定され、前記係止部が前記第 1 位置にあるときに前記連結片の通過を許容し、前記係止部が前記第 2 位置にあるときに前記連結片の通過を阻止する第 1 ストップと、
前記ベッドフレームのベッド頭部側に固定され、前記係止部が前記第 1 位置にあるときに前記連結片の通過を許容し、前記係止部が前記第 2 位置にあるときに前記連結片の通過を阻止する第 2 ストップと、
前記ベッドフレームの前記第 1 ストップと前記第 2 ストップとの間に固定され、前記係止部が前記第 1 位置にあるときに前記連結片の通過を許容し、前記係止部が前記第 2 位置にあるときに前記連結片の通過を阻止する第 3 ストップと、
を備えた妊婦用ベッド。

【請求項 2】

前記係止部が前記第 1 ストップよりも前記ベッド足部側に位置するときに、前記足ボトムの全体が前記ベッドフレームから引き出されて寝台の一部として使用可能となり、

前記係止部が前記第 2 ストップよりも前記ベッド頭部側に位置するときに、前記足ボトムの全体が前記ベッドフレームの下に格納されて前記腰ボトム及び前記背ボトムが椅子として使用可能となり、

前記係止部が前記第 3 ストップに係止されているときに、前記足ボトムの一部が前記ベッドフレームから引き出されて新生児受け台として使用可能となる請求項 1 記載の妊婦用ベッド。

【請求項 3】

前記第 3 ストップは、
第 1 部材と、
第 2 部材と、
を有し、

前記第 2 部材は前記第 1 部材と前記第 2 ストップとの間に配置されており、
前記第 1 部材と前記第 2 部材との間には前記係止部が進入可能であり、

前記第 1 部材の前記ベッド足部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度は、前記第 1 部材の前記ベッド頭部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度よりも小さく、
前記第 2 部材の前記ベッド頭部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度は、前記第 2 部材の前記ベッド足部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度よりも小さい請求項 1 または 2 に記載の妊婦用ベッド。

【請求項 4】

前記第 1 部材の前記ベッド頭部側の端縁における前記第 1 位置側の部分は、前記ベッド頭部側に張り出している請求項 3 記載の妊婦用ベッド。

【請求項 5】

前記第 1 ストップの前記ベッド頭部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度は、前記第 1 ストップの前記ベッド足部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度よりも小さく、

前記第 2 ストップの前記ベッド足部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度は、前記第 2 ストップの前記ベッド頭部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度よりも小さい請求項 1～4 のいずれか 1 つに記載の妊婦用ベッド。

【請求項 6】

前記連結片には長孔が形成されており、

前記連動杆は前記長孔内を移動可能な突起を有し、

前記足部フレームが前記ベッド長手方向に沿って移動することにより、前記係止部が前記第 2 位置から前記第 1 位置に変位したときに、前記突起が前記長孔内を移動する請求項 1～5 のいずれか 1 つに記載の妊婦用ベッド。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

実施形態に係る妊婦用ベッドは、

腰ボトム及び背ボトムを支持するベッドフレームと、

足ボトムを支持し、前記ベッドフレームの下方をベッド長手方向に沿って移動可能な足部フレームと、

前記足部フレームに対して上下動可能に取り付けられたレバーと、

前記ベッド長手方向に延び、前記レバーの上下動に連動して前記ベッド長手方向に運動する連動杆と、

前記連動杆に対して回動可能に連結され、前記連動杆の前記ベッド長手方向の運動に連動して第 1 位置と第 2 位置との間で上下動する係止部を有した連結片と、

前記ベッドフレームのベッド足部側に固定され、前記係止部が前記第 1 位置にあるときに前記連結片の通過を許容し、前記係止部が前記第 2 位置にあるときに前記連結片の通過を阻止する第 1 ストップと、

前記ベッドフレームのベッド頭部側に固定され、前記係止部が前記第 1 位置にあるときに前記連結片の通過を許容し、前記係止部が前記第 2 位置にあるときに前記連結片の通過を阻止する第 2 ストップと、

前記ベッドフレームの前記第 1 ストップと前記第 2 ストップとの間に固定され、前記係止部が前記第 1 位置にあるときに前記連結片の通過を許容し、前記係止部が前記第 2 位置

にあるときに前記連結片の通過を阻止する第3ストッパと、
を備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

この妊婦用ベッドにおいては、例えば、

前記係止部が前記第1ストッパよりも前記ベッド足部側に位置するときに、前記足ボトム全体が前記ベッドフレームから引き出されて寝台の一部として使用可能となり、

前記係止部が前記第2ストッパよりも前記ベッド頭部側に位置するときに、前記足ボトム全体が前記ベッドフレームの下に格納されて前記腰ボトム及び前記背ボトムが椅子として使用可能となり、

前記係止部が前記第3ストッパに係止されているときに、前記足ボトムの一部が前記ベッドフレームから引き出されて新生児受け台として使用可能となる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

前記第3ストッパは、例えば、

第1部材と、

第2部材と、

を有し、

前記第2部材は前記第1部材と前記第2ストッパとの間に配置されており、

前記第1部材と前記第2部材との間には前記係止部が進入可能であり、

前記第1部材の前記ベッド足部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度は、前記第1部材の前記ベッド頭部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度よりも小さく、

前記第2部材の前記ベッド頭部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度は、前記第2部材の前記ベッド足部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度よりも小さい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

この場合において、前記第1部材の前記ベッド頭部側の端縁における前記第1位置側の部分は、前記ベッド頭部側に張り出しているもよい。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

この妊婦用ベッドにおいて、例えば、

前記第1ストッパの前記ベッド頭部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度は、前記第1ストッパの前記ベッド足部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度よりも小さく、

前記第 2 ストップの前記ベッド足部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度は、前記第 2 ストップの前記ベッド頭部側の端縁と前記ベッド長手方向とのなす角度よりも小さい。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

この妊婦用ベッドにおいて、例えば、
前記連結片には長孔が形成されており、
前記連動杆は前記長孔内を移動可能な突起を有し、
前記足部フレームが前記ベッド長手方向に沿って移動することにより、前記係止部が前記第 2 位置から前記第 1 位置に変位したときに、前記突起が前記長孔内を移動する。